

武蔵野大学中高の生徒のみんなへ

皆さんももう知っていると思いますが、政府からの休校の要請がありました。本校としても、生徒・保護者の皆さんの命と安全を守るために、春休みまでの間を自宅学習期間として休校することにしました。いろんな想いがあることは私たち教職員も同じです。

ただ、これも「ご縁」と思って、有効に活用しましょう。

私からこの自宅学習期間中に伝えたいことが、4点あります。もし必要ならメモを取る準備をして下さい。

1、本をたくさん読みましょう。

今は分からないかもしれませんが。私もみんなと同じ年齢の時は分かりませんでした。その意味が分かるのは30歳を超えたあたりからです。筋トレだと思って、読んでみて下さい。参考としては「スタディアプリ Library」(<https://shingakunet.com/library/>)はとても面白い本がたくさん載っています。参考にしてみてください。

2、弱点を正確に把握しましょう。

私自身、とても苦手でした。できれば、自分の弱点なんて見たくないはずですが、逃げていけば、追いかけられ続けます。自分から追っていけば、自ずと解決に近づきます。弱点は、逆に言えば、自分にとっては宝物です。大事にして、少しずつ解決していきましょう。

3、自分の興味関心があることを徹底的に研究してみましょう。

「リサーチと分析」が、皆さんにとっていつか役に立つ日が来ます。難しい科学や歴史の研究でもいいです。料理や掃除・洗濯でもいいと思います。いや、生活をする上では、料理・掃除・洗濯を極めることはとても大切なことです。ぜひ、家族に貢献することもこの期間にしてみてください。

4、ネットでのコンテンツが無料で開放されていますので試してみてください。

ネットには怪しげなコンテンツもありますので、信頼できるサイトを参考にしましょう。経済産業省の「未来の教室」 (https://www.learning-innovation.go.jp/covid_19/)に載っているものは信頼できます。日々更新されています。ぜひ調べて、試してみてください。きっとみんなそれぞれに合うものがあり、面白いと思います。

日本全体、いや世界全体がある意味、一つの危機を迎えています。今回の自宅学習期間の決定は、みんなとそこご家族の命を最優先に考えた結果です。その点に関しては、納得していない部分もあると思いますが、理解はしてくれていると信じています。

私事にはなりますが、私自身、みんなと同じ年齢のころにタイに住んでおり、その際には洪水や湾岸戦争、クーデターなどの影響で学校が閉鎖されたことがありました。グローバル社会においては起こりうるリスクです。大事なことは「あなた自身の行動の積み重ねにかかっていること」です。

「誰かが何とかしてくれる」「まだ出ていない」「私には関係ない」という考え方は捨て、日本・世界全体に貢献することを第一義として下さい。そして、テレビやネットを見て、批評家にはならないで下さい。自らの戒めも込めて、自ら行動しないのに、批評ばかりする人は卑怯者だと私は思います。

またこんな時は、デマが飛び交います。ネットの情報に踊らされないで下さい。自分の目と耳を信じ、焦ることなく、一呼吸・深呼吸をしてから行動して下さいね。「甘言の裏に、秘め事あり」です。

政府や企業など、今日本中で大人の人たちが、何とかしようとして、動き続けています。様々な経緯を経て決断し、行動した人に対して、常に感謝を忘れないで下さい。そして批難や批評するのではなく、「私には今何か手伝えることはないのか？」を考えて行動しましょう。まずは身近な人、そして家族のことを大事に考えて行動して下さい。

今回の休校期間は「自宅学習」期間になります。そのため、学校が本来ある時間帯は、感染症を広げないためにも「自宅」で学習を進めて下さい。

勉強をしろ、とは言いません。ただ、自分で自分のことを、よく考えてみて下さい。そして少し不謹慎かもしれませんが、この期間に、前向きに楽しく自らを振り返って、自分の弱点や伸ばしたいところ、強化したいところを考えてみましょう。

まず、この週末に、ブレストをして大きな紙にマインドマップに書き出し、「文字」にして、机に貼っておくことをお勧めします。

最後に今後、情勢によっては、この期間を短くすることも延長することもあり得ます。一喜一憂することなく、毎日を丁寧に過ごして下さい。次に会える日を楽しみにしております。

2020年2月29日
校長 日野田直彦